

情報通信審議会 情報通信技術分科会 ITU 部会

地上業務委員会（第 47 回） 議事概要（案）

1 日 時 平成 30 年 4 月 18 日（水） 14:00～16:00

2 場 所 合同庁舎 2 号館 総務省 1 階 共用会議室 4

3 出 席 者（敬称略、順不同）

[委員・専門委員]

三瓶 政一（主査）、小川 博世（主査代理）、飯塚 留美、市川 武男、上村 治、
川口 さち子、佐藤 孝平、阪田 史郎、田北 順二、松永 彰

[関係者]

新（NTT ドコモ）、今田（KDDI）、岩谷（日本電信電話）、植田（三菱総合研究所）、
大槻（日本電信電話）、小山（電波産業会）、鴨田（日本放送協会）、川本（三菱
電気）、柴垣（日立国際電気）、宮寺（日本無線）

[事務局]

（移動通信課新世代移動通信システム推進室）中里、川崎（大）、小橋
（基幹・衛星移動通信課）服部
（基幹・衛星移動通信課基幹通信室）野村
（基幹・衛星移動通信課重要無線室）瀬田

4 配 付 資 料

資料地-47-1 地上業務委員会（第 46 回）議事要旨（案）
資料地-47-2 ITU-R SG5 関連会合報告書（案）
資料地-47-3 ITU-R SG5 関連会合への日本寄与文書（案）
資料地-47-4 ITU-R SG5 関連会合への対処方針（案）

参考資料 1 ITU-R SG5 関連会合の開催案内
参考資料 2 ITU-R SG5 関連会合の日本代表団一覧
参考資料 3 地上業務委員会構成員名簿

5 議 事 概 要

（1） 地上業務委員会（第 46 回）議事要旨について
【資料地-47-1】

地上業務委員会（第46回）の議事要旨について、事務局から説明があった。

(2) ITU-R SG5 関連会合の報告について

【資料地-47-2】

事務局から、ITU-R SG5 関連会合について報告があった。

(3) ITU-R SG5 関連会合への日本寄与文書（案）について

【資料地-47-3-1】

KDDI 今田氏から、「24.65-25.25 GHz 及び 27-27.5GHz 帯における固定衛星業務（地球から宇宙）と IMT システムとのさらなる共用検討」について説明があり、以下の質疑応答の後、承認された。

三瓶主査 主な変更はシミュレーション試行回数の増加か。

今田氏 そのとおり。

【資料地-47-3-2】

NTT ドコモ 新氏から、「26GHz 帯における共用検討の結果のまとめ及び分析に関するテキスト提案」について説明があり、以下の質疑応答の後、承認された。

三瓶主査 固定衛星に関する記載は無くても問題ないのか。

新氏 次回の議論を踏まえ、必要であれば最終回である次々回に提案したい。

三瓶主査 そのようなスケジュールで間に合うのか。

新氏 間に合わせたい。

【資料地-47-3-3】

NTT ドコモ 新氏から、「32GHz 帯における共用検討の結果のまとめ及び分析に関するテキスト提案」について説明があり、特段の質疑なく承認された。

【資料地-47-3-4】

NTT ドコモ 新氏から、「40GHz 帯（37.0-43.5 GHz）における共用検討の結果のまとめ及び分析に関するテキスト提案」について説明があり、以下の質疑応答の後、承認された。

三瓶主査 ここまでの3件の寄与文書案で扱うセクションは、共用検討の議論のまとめにあたる。議論は収束してきているのか。

新氏 検討は出そろいつつある。

三瓶主査 次回でおおよそ検討は終了するのか。

新氏 共用検討については、次回で終わるスケジュールになっている。

【資料地-47-3-5】

KDDI 今田氏から、「WRC-19 議題 1.13 の CPM テキスト案に向けた作業文書の修

正案」について説明があり、以下の質疑応答の後、承認された。

三瓶主査 セクション4について、選択肢が多いと思うが、議論が発散しないか。

今田氏 全ての周波数帯にNOCが記載されることについては、冒頭にまとめて書くか、各周波数帯に書くかとしたい。

三瓶主査 まとめて書く方がよいだろう。

新 氏 各周波数帯にNOCを書きたいという意見もあるため、議論が収束するよう進めたい。

【資料地-47-3-6】

日本電信電話 岩谷氏から、「新報告草案 ITU-R M. [RLAN REQ-PAR]に向けた作業文書の修正の提案」について説明があり、以下の質疑応答の後、承認された。

三瓶主査 登録局の制度に関する内容が、Sharing studyの部分に入っており、MethodやResolutionの部分には含まれていないが、問題ないのか。

岩谷氏 RRにおいては、登録局による管理手法まで規定することは想定していないので、問題ない。

【資料地-47-3-7】

日本電信電話 岩谷氏から、「新報告草案 ITU-R M. [RLAN SHARING 5 150-5 250MHZ]に向けた作業文書の修正の提案」について説明があり、特段の質疑なく承認された。

【資料地-47-3-8】

日本電信電話 岩谷氏から、「WRC-19 議題 1.16 CPM TEXT 草案の修正の提案」について説明があり、特段の質疑なく承認された。

【資料地-47-3-9】

電波産業会 小山氏から、「新勧告草案 ITU-R M. [ITS FRQ]「移動業務におけるITSのための周波数帯の調和」に関する修正提案」について説明があり、以下の質疑応答の後、承認された。

飯塚構成員 ITSに関する周波数の国際的な調和について、電波有効利用成長戦略懇談会でも話が出ているが、本寄書に反映されているのか。

事務局 議論が行われているところなので、本寄書には盛り込まれていない。

三瓶主査 将来的に、本勧告はどのように利用されるのか。

小山氏 WRC-19後に、ITS周波数の議論のベースになる勧告であると考えている。日本で利用される周波数帯が除外されないよう対応したい。

【資料地-47-3-10】

電波産業会 小山氏から、「ITU-R 勧告 M. 1890「高度 ITSのための無線通信技術

の目的と要件」の改訂草案に向けた作業文書への修正提案」について説明があり、特段の質疑なく承認された。

【資料地-47-3-11】

電波産業会 小山氏から、「WRC-19 議題 1.12 の GPM テキスト草案の修正提案」について説明があり、以下の質疑応答の後、承認された。

- 三瓶主査 会議の中では、NOCと決議追加について、どちらの意見が多いのか。
小山氏 NOCは議題設定時から書いてある。前回、中国及び日本が決議追加の意見を出した。NOCでは議題設定の意味がなくなるため、NOCにならないよう各国の賛同を得たい。
小川主査代理 勧告において、第3地域に700MHz帯が追加されている。決議には700MHz帯を記載しないのか。
小山氏 勧告から合意形成を目指したい。

【資料地-47-3-12】

三菱電機 川本氏から、「ITU-R 新レポート案 M. [RSTT. USAGE]に向けた作業文書の修正案」について説明があり、特段の質疑なく承認された。

【資料地-47-3-13】

三菱電機 川本氏から、「WRC-19 議題 1.11 GPM テキスト草案の修正提案」について説明があり、以下の質疑応答の後、承認された。

- 三瓶主査 決議の中に勧告を参照すると書くことは問題ないのか。
川本氏 過去例もあり、問題ない。

【資料地-47-3-14】

日立国際電気 柴垣氏から、「新レポート案 M. [RSTT. USAGE]に向けた作業文書の90GHz帯 RSTTに関する改定案」について説明があり、以下の質疑応答の後、承認された。

- 上村構成員 M. [RSTT. USAGE]に対して2つの提案があるが、まとめた方がよいのではないか。
小川主査代理 本レポートについては、まとめるのにかなりの労力がかかる。現在/将来技術という観点で分離しており、現地での議論を容易にすべく、分離して提出したい。
上村構成員 事情は承知した。
事務局 「90GHz」という記載が本文に多く残っているため、修正して欲しい。
柴垣氏 修正する。

【資料地-47-3-15】

日立国際電気 柴垣氏から、「90GHz帯 RSTTの共存に関する新レポート草案

M. [90-GHZ. RSTT. COEXIST]に向けた作業文書の改定案」について説明があり、特段の質疑なく承認された。

【資料地-47-3-16】

事務局から、「WRC-19 議題 1.9.1 に関する WP5C へのリエゾンに係る回答の提案」について説明があり、以下の質疑応答の後、承認された。

三瓶主査 今後、共用検討を行うために必要な陸上移動業務の無線局のパラメータをWP5Bに提供することはあるのか。

事務局 共用検討を行える状況ではないので、パラメータを提供することは想定していない。

三瓶主査 WP5Aでは、共用検討ではなく干渉検討を行うのではないのか。

事務局 これまでのWP5Bでの議論においても、AMRDsに関する具体的な技術諸元が示されていないため、現時点では干渉検討を行う段階にも至っていない。

【資料地-47-3-17】

日本無線 宮寺氏から、「WRC-19 議題 1.9.2 の CPM テキスト草案に向けた作業文書の修正提案」について説明があり、以下の質疑応答の後、承認された。

三瓶主査 メソッドBは無いのか。

宮寺氏 メソッドBはNo Changeとなっている。

三瓶主査 今までの議論ではメソッドAがNo Changeが多かったが、今回メソッドBなのは、何か理由があるのか。

宮寺氏 寄与文書の入力された順番にA, B, Cと振り分けられていると認識している。

【資料地-47-3-18】

日本無線 宮寺氏から、「ITU-R 新報告草案 M. [VDES-SAT]に向けた作業文書の修正提案」について説明があり、以下の質疑応答の後、承認された。

三瓶主査 Alternative 1 や 2 とは何を指しているのか。

宮寺氏 Alternative 1 は、メソッドCで導入しようとしている周波数帯、Alternative 2 は、メソッドAで導入しようとしている周波数帯を指す。

【資料地-47-3-19】

日本無線 宮寺氏から、「ITU-R 新報告草案 M. [NAVDAT-GUIDELINES]に向けた作業文書の修正提案」について説明があり、特段の質疑なく承認された。

【資料地-47-3-20】

事務局から、「WRC-19 議題 1.9.1 に係る WP5B からのリエゾンへの回答の提案」

について説明があり、特段の質疑なく承認された。

【資料地-47-3-21】

三菱総合研究所 植田氏から、「改定勧告草案 ITU-R M. 1849 の上程の提案 地上用気象レーダーの技術・運用面について」について説明があり、以下の質疑応答の後、承認された。

上村構成員 挑戦的な内容だが、雰囲気は陰悪ではないのか。

植田氏 米国では、5GHz帯でRLANを押している関係から、それを阻む可能性のあるものを阻止したいということで、前回会合では阻まれた。そういう事情もあったが、お互いの立場はわかっており、次回会合では何とかして欲しいというやり取りもあったので、そこまで陰悪では無い。

上村構成員 これぐらい書いた方が良いという判断か。

植田氏 日本としては、次の会合で絶対に勧告として成立させたいので、強めの文言で書いた。

【資料地-47-3-22】

小川主査代理から、「92-100GHzの周波数範囲内で運用するFOD検出システムに関する新研究課題の提案 92-100GHzの周波数範囲で運用するFODシステムの技術運用特性とスペクトラム要件」について説明があり、以下の質疑応答の後、承認された。

三瓶主査 挑戦的な内容だが、雰囲気は陰悪ではないのか。

小川主査代理 既に研究はスタートしているが、まずは研究課題を設定し、他のWPにも認識してもらう必要がある。最終的には、共用検討をする必要があるので、使用条件についてクリアにしておきたい。

【資料地-47-3-23】

日本電信電話 大槻氏から、「ITU-R 勧告 F. 1105-3 に対する改訂提案」について説明があり、特段の質疑なく承認された。

【資料地-47-3-24】

日本放送協会 鴨田氏から、「新レポート草案 ITU-R F. [HAPS-6GHZ]の策定に向けた作業文書の修正提案」について説明があり、以下の質疑応答の後、承認された。

三瓶主査 干渉計算は、最悪条件で行っているとのことだが、このままの内容で他国から受け入れられるのか。

鴨田氏 他国から受け入れられるかはわからないが、固定局の保護のために、主張することは必要と考えている。

(4) ITU-R SG5 関連会合への対処方針案について

【資料地-47-4】

事務局から、ITU-R SG5 関連会合への対処方針（案）について説明が行われ、承認された。

(5) その他

事務局より参考資料の説明があった。

本日の審議を経て、修正の必要がある寄与文書については、近日中に事務局に提出することになった。

また、承認された寄与文書について、大きく主旨の変更がない限りは、文書案の変更の可能性がある旨、事務局から了承を求め、承認された。

外国寄与文書の対応については、日本代表団を中心に外国寄与文書審議表を作成し、対処に用いることとする旨説明があり、承認された。

以上